



加太小学校便り 1月

令和4年1月6日
和歌山市立加太小学校

明けましておめでとうございます

新しい年、令和4年の始まりです。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年、十二支の中では3番目にあたる寅年です。少し詳しく言うと、十干が「壬（みずのえ）」、十二支が「寅」の年にあたるので、干支は「壬寅（みずのえとら）」となります。では、壬寅はどんな意味を持つ干支かというと、厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージなのだそうです。

三学期を新しい成長の礎とするために

三学期は、一学期・二学期に育んできた力を、次の学年で一段と成長させるための準備の期間ともいえます。上級生の行いを見て、「次は、僕たち・私たちが頑張る番だ。」と、気持ちを引き締める子供達もいるかもしれません。加太小学校を、素敵な学校にするためには、子供達一人一人の頑張りが欠かせません。

さて先月、6年生は修学旅行、5年生は森林体験に無事出かけることができました。コロナウィルス感染症のことを気にしながらも、大きな学校行事を終えることができ嬉しく思っています。今回の行事の中で、印象に残っていることがあります。一つは修学旅行で串本海中公園で見学していた時のことです。イソギンチャクは普通、



触手に無数にある毒で、魚などを刺してしびれさせて餌にします。ところがクマノミ類だけはこのイソギンチャクと共生をします。それはクマノミの体表を覆う粘液がイソギンチャクの粘液に似ているので、イソギンチャクはクマノミを餌とは認識できないそうです。それでクマノミは恐ろしい食肉魚から身を守ることができるのようです。クマノミはイソギンチャクのまわりになわばりをもって、イソギンチャクの触手を食べる魚などの敵を追っ払います。クマノミはイソギンチャクに身を守ってもらい、イソギンチャクは敵を追っ払ってもらって、お互い助け合いながら生活していることです。もう一つは、森林教室で山の中を歩いているときに教えてもらった松ぼっくりのことです。雌しべの先端に付いた実が成熟し、大きな実のようになります。

最初は固く閉ざしていたヒダが乾燥すると開き、中に花のような種がたくさん入っています。その種が風に乗って遠くに運ばれるのですが、松ぼっくりのヒダは水に濡れると閉じ、乾燥すると開く性質があるそうです。濡れてしまうと種を遠くに飛ばせないためでしょう。風という力を利用して、より広いところで成長できるようにしているのですね。私はこの二つが印象に残っています。



なぜなら、これらは生活習慣や個性、自然というように全く違うものですが、それぞれがそれぞれの長を生かし、また、相手に助けられることで生きていくところに共感しました。子供達も同じように、みんな個性があり自分にはない良いところをたくさん持っています。学習の時間に活躍する子、掃除の時間で輝いている子、クラスの雰囲気を盛り上げる子など場面は様々ですが、どこかで活躍し、助けてもらいながら、多くの会話や体験から日々新しい発見をしながら、お互い成長していける加太小学校でありたいと思います。

この一年、共生しながら成長する加太小学校にしていくためにも「無病息災」、みんなが健康であることがまずは一番、そして、子ども達の輝く「活躍の場」をいっぱい増やしていけるよう、教職員一同一丸となって邁進して参ります。保護者・地域の皆様、今年もご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1月の行事予定

1	土	元日	16	日	
2	日		17	月	登校指導 縦割り活動
3	月		18	火	スクール・ソーシャル・ワーカー来校日
4	火		19	水	
5	水		20	木	
6	木	始業式(11:30 下校) 登校指導 安全点検	21	金	
7	金		22	土	
8	土		23	日	
9	日		24	月	縦割り活動
10	月	成人の日	25	火	
11	火		26	水	
12	水	いじめなくそうデー 能楽鑑賞ワークショップ(5・6限)	27	木	文化庁による能楽鑑賞(5・6限)
13	木	人権モラル教室(4～6年、3限)	28	金	スクールカウンセラー来校日 公共交通教室(1・2年)
14	金		29	土	
15	土		30	日	
			31	月	誕生日会

※加太っ子文化祭は、2月19日(土)です。2月21日(月)は振替休業日となります。

引き続きの

お願い

新型コロナウイルス感染症については、落ち着いてはいるものの、今まで通り感染予防対策を十分行うとともに、それでも万が一の場合があっても、風評被害や心無い差別的な事案のないようお願いいたします。なお、発熱等の症状があるときは、無理せず必ず病院での受診していただき、また、症状等で気になることがある場合は、学校までご連絡下さいますようお願いいたします。

もちつき大会

12月11日(土) 9:00～

新型コロナウイルス感染症対策で、去年は実施できませんでしたが、今年は保護者会で、子ども達に臼と杵でもちつき体験をさせたいという願いのもと話し合っ、落ち着いたコロナ禍状況、十分なコロナ対策、飲食はしないという内容で「もちつき大会」が開催されました。つき上げたお餅は小さく丸められ、袋に入れて持ち帰り



ます。子ども達は代わる代わる重い杵をかかげ

て、力いっぱいもちつきを楽しみました。準備のための買い出し、前日の下準備、当日の運営、片付け等、多くの保護者の方々にご協力いただきありがとうございました。各ご家庭でつくたてのお餅を美味しくいただけたことと思います。この様子はホームページにも詳しく掲載されています。(教頭) 阪口佳邦

